

受験番号

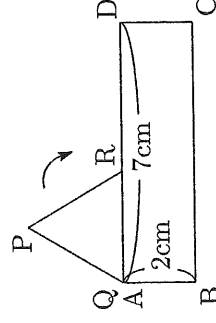
次の の中に正しい答えを入れなさい。ただし、円周率は3.14とします。

【1】 次の問いに答えなさい。(2)～(5)は途中の計算などを【計算欄】や図に書いてもかまいません。

(1) $\left\{ 1\frac{1}{5} \div \left(2\frac{1}{4} - \right. \right. \left. \left. + \frac{1}{15} \right) \div 1\frac{4}{7} - \frac{5}{6} = 1\frac{1}{2} \right.$

(2) 右の図のような1辺の長さが3cmの正三角形PQRが、長方形ABCDのまわりをすべらずに

転がり1周して元の位置に戻るとき、頂点Qが動いた長さは

 cmです。


【計算欄】(図に書いてもかまいません)

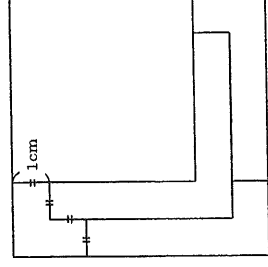
(3) 兄と弟がそれぞれいくらかお金を持っています。2人とも800円をもったため、兄と弟の所持金の比は11:6になりました。それから兄は所持金の2割より400円多い金額を使ったため、兄と弟の所持金の比は13:10になりました。はじめに兄は

 円持っていました。

【計算欄】

(4) 1辺の長さが5cmの正方形の紙を5枚はりつけた結果、右の図のように1辺の長さが7cmの正方形

になりました。紙が2枚だけ重なっている部分の面積は

 cm²です。


【計算欄】(図に書いてもかまいません)

(5) Aさんは 1, 3, 3, 5 のカードを、Bさんは 2, 2, 3, 4 のカードをそれぞれ持っています。2人がそれぞれ自分のカードを並べて4桁の数を作ります。Aさんの数の千の位が5のとき、Aさんの数がBさんの数より大きくなるような2つの数の組は

通りです。また、Aさんの数がBさんの数より大きくなるような2つの数の組は

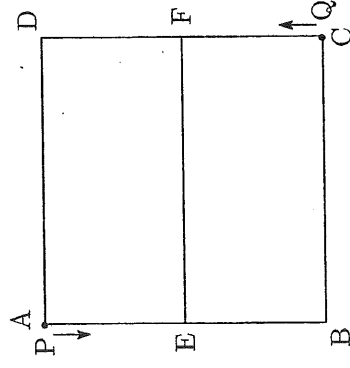
通りです。

【計算欄】

算 数

(その2)

【2】 右の図のような1辺の長さが30cmの正方形ABCDにおいて、辺AB, CDの真ん中の点をそれぞれE, Fとします。点Pは毎秒3cmの速さでAを出発して正方形ABCDの辺上を反時計回りに移動し、点Qは毎秒2cmの速さでCを出発して長方形CFEBの辺上を反時計回りに移動します。点Pと点Qは同時に出発します。



(1) 三角形APDの面積が2回目に 300cm^2 になるのは、出発してから 秒後です。

(2) 三角形APDと三角形AQDの面積が初めて等しくなるのは出発してから

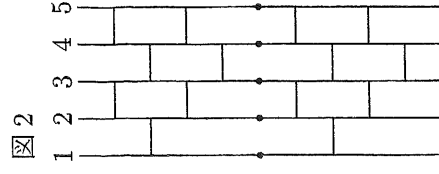
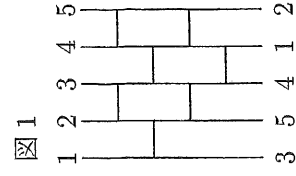
秒後で、2回目に等しくなるのは出発してから

秒後です。

(3) 出発した後に、3点A, P, Qが初めて一直線上に並ぶのは、出発してから

秒後です。

【3】 あみだくじをなぞることによって数字の列を並べかえることを考えます。右の図1のあみだくじでは、数字の列「12345」が「35412」に並びかわります。また、図2のあみだくじは図1のあみだくじをそのままの向きで2個使って新しいあみだくじを作っています。



(1) 図2の数字の列「12345」は「 」に並びかわります。

(2) 図1のあみだくじをそのままの向きでいくつか使って新しいあみだくじを作り、数字の列「12345」を並べかえてもとの「12345」にすることを考えます。図1のあみだくじをできるだけ少ない個数を使ってこの新しいあみだくじを作るとき、図1のあみだくじは何個使いますか。求め方と答えを書きなさい。

(求め方)

	個
	(答)

(3) 図1のあみだくじをそのままの向きで50個使って新しいあみだくじを作り、あみだくじをなぞっていきます。2からなぞるとき横に移動するのは 回で、1からなぞるとき横に移動するのは 回です。

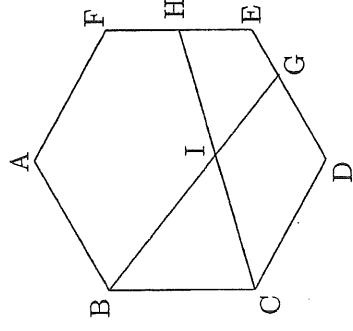
算 数

(その3)

【4】 右の図の正六角形ABCDEFにおいて、 $DG : GE = 2 : 1$ で、Hは辺EFの真ん中の点です。

(1) 五角形ABCHFと正六角形ABCDEFの面積比をもっとも簡単な整数の比で表すと

: です。



(2) $CI : IH$ をもっとも簡単な整数の比で表すと

: です。

(3) $BI : IG$ をもっとも簡単な整数の比で表すと

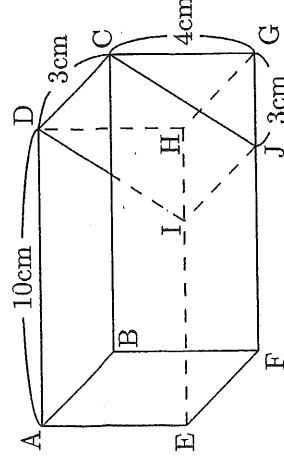
: です。

(4) 四角形CDGIと四角形IGEHIの面積比をもっとも簡単な整数の比で表すと

: です。

【5】 右の図のような面ABCDのあいた直方体の容器に、中身のつまった三角柱CJG-DIHをうめこんだ容器が、平らな床に置いてあります。

(1) 水が容器いっぱいに入っている状態で、辺GHを床につけたままこの容器を45度かたむけました。このとき、容器に残った水は cm^3 です。



(2) 水が容器いっぱいに入っている状態で、辺GHを床につけたままこの容器をかたむけた後、もとに戻したところ、はじめに入っていた水の $\frac{5}{17}$ だけ容器に残りました。このとき、水

面の高さは cm です。

(3) 水が容器いっぱいに入っている状態で、辺FGを床につけたままこの容器を45度かたむけました。このとき、容器に残った水は cm^3 です。